



PALME D'OR
FESTIVAL DE CANNES 2003



BEST DIRECTOR
FESTIVAL DE CANNES 2003

2003年カンヌ国際映画祭史上初
パルムドール&監督賞 (ガス・ヴァン・サント)
W受賞!

『マイ・プライベート・アイダホ』『ドラッグストア・カウボーイ』『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』

監督・脚本・編集 ガス・ヴァン・サント

エレファント

撮影:ハリス・サヴィデス『小説家を見つけたら』『ゲーム』 音響デザイン:レスリー・シャッツ『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』

2003年/アメリカ映画/1時間21分/カラー/スタンダード(1:1.33)/SRD

配給:東京テアトル、エレファント・ピクチャー 提供:東京テアトル、エレファント・ピクチャー、テレビ東京 協力:ジェネオン エンタテインメント www.elephant-movie.com



アイダホ州ポートランド。
アメフト、図書館、カフェテラス、写真部、ダイエット。
ごく普通の高校生たち。

いつもと同じ1日だと思ってた。

Elephant

HBO FILMS presents a MEXO FILM COMPANY Production in association with BLUE RELIEF INC. "ELEPHANT"
Director of Photography HARRIS SAVIDES, ASC
Executive Producers DIANE KEATON BILL ROBINSON
Produced By DANY WOLF
Written and Directed by GUS VAN SANT
©2003 Home Box Office, Inc. All rights reserved.

カメラアングル、スタイリングどれをとっても今年最高の映画！好きです。

熊谷隆志 (スタイリスト/フォトグラファー/GDCディレクター)

カメラはただ、少年たちの背中を追う。この距離の遠さと近さに、「エレファント」の絶望は、ある。

宮寄広司 (CUT編集)

彼(監督)の持つ距離間は、時代がどんなに狂気にまきこまれても、紳士的であり救われる。

MOTOKO (フォトグラファー)

少年の、大人による、青少年の為の映画。僕等は唯、見届けばいい。

緩めのピントで、しかししっかりと。

伊賀大介 (スタイリスト)

10代だった頃の心情が何度もフラッシュバックして、本当に胸が詰まりました。

カヒミ・カリイ (ミュージシャン) SPUR 1月号より

当時私もハイスクールに通っていた。彼らは私と変わらない男の子たちだった。

坂本美雨 (ミュージシャン) SPUR 1月号より

まるでパズルの様な映画だ。陰と陽を合わせ持つ少年の心を見事に描いている。

僕は考え込んでしまった。なぜならこれは大人達にも言える事だから。

宮下貴裕 (NUMBER (N)INE デザイナー)

(順不同)

Elephant



エレファント

撮影:ハリス・サヴィデス『小説家を見つけたら』『ゲーム』
音響デザイン:レスリー・シャッツ『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』
挿入曲:ベートーヴェン:バガテル『エリーゼのために』JWo.59、
ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調Op. 27-2『月光』
2003年/アメリカ映画/1時間21分/カラー/スタンダード(1.1.33)/SRD
配給:東京アトル、エレファント・ピクチャー
提供:東京アトル、エレファント・ピクチャー、テレビ東京
協力:ジュネオン エンタテインメント
©2003 Home Box Office, Inc. All rights reserved.
www.elephant-movie.com

史上初！ 2003年カンヌ国際映画祭 パルム・ドール&監督賞W受賞 ガス・ヴァン・サント監督 最高傑作『エレファント』がついに日本公開！！

心に突き刺さる衝撃

少年たちの無垢なきらめき

『マイプライベート・アイダホ』『ドラッグストア・カウボーイ』『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』と、揺れ動きながら居場所を探し求める少年たちを、彼らと同じ視点で見つめ続ける監督、ガス・ヴァン・サント。故リバー・フェニックス、キアヌ・リーブス、マット・デイモンといった俳優たちから絶大な信頼を集め、大人には見えない煌くイノセンスを映し出す。その彼が時代をありのままに受け入れ描いた『エレファント』が誕生した。たゆたうように流れる映像が、メランコリックで純粋で残酷な少年たちを映し出す。

1999年に起きたコロラド州コロンバイン高校の銃乱射事件をモチーフにしたこの作品は、そのセンセーショナルな事件ゆえに製作が難航した。しかし大女優ダイアン・キートンがプロデューサーとなりようやく企画は実現。声高に問題点を指摘するのではなく、普通の高校生たちの日常を見つめ、(事件)へと至るまでの時間を淡々と描いていく。こうして出来上がった『エレファント』は「なぜ？」という素朴な疑問を、私たちに、少年たちに、

そして監督自身にも問い続けていく――。

素人の出演者からナイーブな感受性を引き出した演出

監督の地元でもあるポートランド北東部で行われた撮影は廃校を使い、監督とのコラボレーションで作業は進められた。実際の高校生3000人から選ばれた出演者は、自分の話や体験を盛り込みながらセリフを作っていた。何気ない中にもリアリティのある脚本がこうして生まれた。オーディションで選ばれた少年少女たちもとても魅力に富んでおり、中でもジョン役のジョン・ロビンソンはその存在感から、アーシア・アルジェント監督の新作に出演したほか、『VOGUE』(イタリヤ版)のカヴァーを飾った。あどけなさたくまじさが同居する彼が今後ブレイクすることは必至だ。平和に見えてどこか居心地の悪さや、アンバランスな気分を抱えている日常の風景を映し出す為、監督と撮影監督サヴィデスは、名匠フレデリック・ワイズマンのドキュメンタリーや、アメリカの原風景を映し出すフォトグラファー、ウィリアム・エグルストンの写真にインスピレーションを求めた。子供

たちを背後から見つめる映像は、心のざわめきを感じさせる。まるで何気ない生活が、天候と同じくくりに変わりやすく、どれだけ危ういバランスの下に成り立っているかを示すように。題名の「エレファント」の由来でもある、「盲目の僧侶たちには、象の全体像が見えない」というたとえ話のように、一歩引いて、彼らの後ろについてあの廊下を歩いてみなければ、問題の本質は見えてこないということかもしれない……。

STORY

泥酔した父親を車に乗せ、学校に遅刻してきたジョン。公園でカップルのポートフォリオを撮り終えたフォトグラファー志望のイーライ。女子に人気のあるアメフト部のネイサンは、ガールフレンドと待ち合わせてランチへ。カフェテリアで女子たちが噂話とダイエット話に花を咲かせ、疎外感を感じている少女ミシェルは図書室のボランティアへと急ぐ。教室では内向的なアレックスが、丸めたティッシュを投げつけられている。ごく普通の日常が淡々と流れていくなか、少年たちの危ういバランスが崩れ始めていた。その日も、いつもと変わらぬ、平凡な一日になるはずだったのに……。



4月24日(土) ロードショー!

コマ劇場斜め前・梅田ロフトB1
テアトル梅田
各回自由席入替制 06(6359)1080

ソニータワーB1F
心齋橋シネマ・ドゥ
各回自由席入替制 06(6251)3789

JR三宮駅東・中央区役所北隣
三宮アサヒシネマ
078(221)5588

▼京都は5/1(土)公開
九条大宮・近鉄東寺駅(JR京都駅よりひと駅)西へ150m
京都市みなみ会館
075(661)3993

特別鑑賞券¥1500好評発売中! 劇場窓口でお買い求めの方にはポストカード・セット(2枚組)をプレゼント! (先着限定)